

配布資料

合同会社えひめ森林発電による木質バイオマス発電施設の新設に係る共同記者発表

日時：H27.3.30(月)
10:00～10:30
場所：知事会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 コメント
 - ・知 事
 - ・松山市長
 - ・合同会社えひめ森林発電 職務執行者
- 3 質疑応答
- 4 閉 会

合同会社「えひめ森林発電」木質バイオマス発電施設 整備位置図

0 1000 m



この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものです。



「合同会社えひめ森林発電」の会社概要と施設概要

<会社の概要>

- 目的：(1)愛媛県におけるバイオマス発電設備の開発、建設、運転及び保守管理業務
(2)前項の発電設備における発電並びに電気の供給及び販売
(3)前各号に附帯関連する一切の事業
- 業務執行社員
 - ・代表社員：株式会社エネ・ビジョン
 - ・職務執行者：森田 孝
- 住所：愛媛県松山市大可賀三丁目10番地2
(三菱化学(株)所有地)
- 設立年月日：平成27年1月23日
- 資本金：1,000万円
株式会社エネ・ビジョンの100%出資子会社

<木質バイオマス発電施設の概要>

- 発電規模：出力12,500kw/h (12.5MW)
年間発電量約87,000MWh
四国電力(株)に売電する計画
- FIT認定：平成26年3月26日認定
- 電力系統への連系承認：平成27年2月13日
四国電力(株)から承認
- 稼働予定：平成29年12月頃：本体工事完成・試運転
平成30年1月頃：営業運転開始(見込み)
- 使用燃料：約12万t/年
未利用材6万t、PKS(ヤシガラ)6万t

「林業躍進プロジェクト」の全体像

配布資料

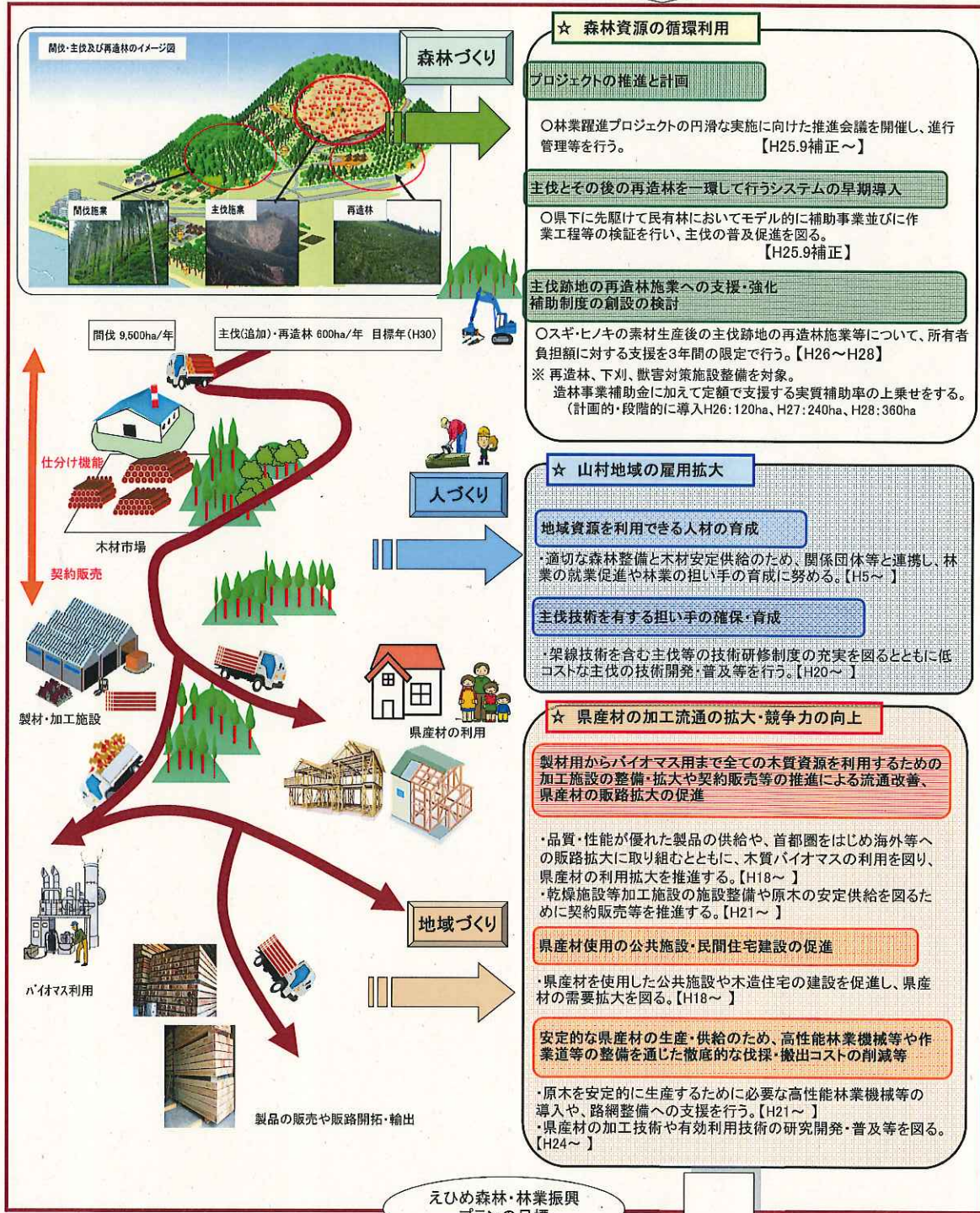
1. プロジェクトの目的

えひめ森林・林業振興プランの目標を達成するために、林業躍進プロジェクトを立ち上げ、主伐を計画的・段階的に導入し県産材を増産することで、森林資源の循環利用、県産材の加工流通の拡大・競争力の向上、山村地域の雇用拡大を図り、林業を地域の成長産業として育成する。

2. 計画期間

平成26年度～平成30年度(5ヶ年)

- 【課題】
- 主伐の導入による県産材の安定供給
 - 主伐後の植栽や下刈等の育林、獣害対策等の負担への支援
 - 主伐や育林作業等の担い手の確保・育成
 - 原木の契約販売など流通の改善
 - 製材加工の拡大や販売促進

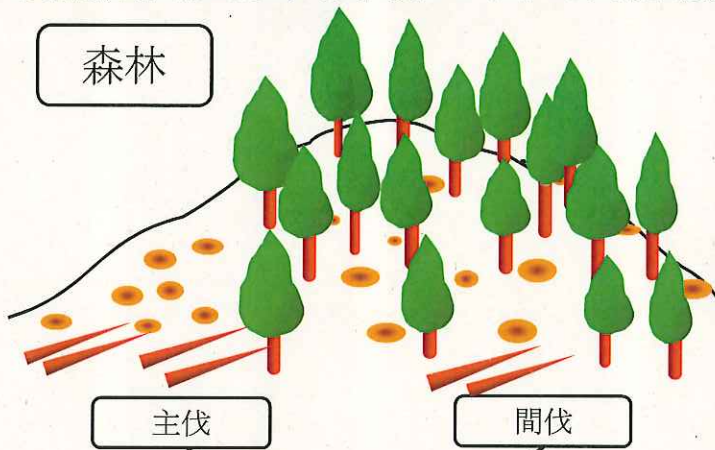


森林資源の利用による地域の振興を図り
林業を地域の成長産業へ育成

県産材の利用拡大 650,000m³/年
(うち主伐・追加分、180,000m³/年)目標H30
間伐による森林整備の推進 9,500ha/年

愛媛県内における木質バイオマス発電原料の調達

森林



各写真はイメージ



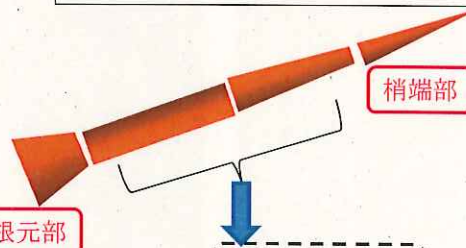
集材・搬出
(森林組合・素材生産業者等)

主伐

間伐

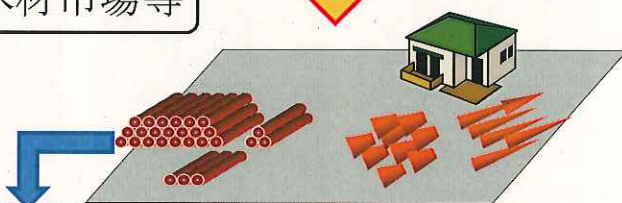
林地残材

(主伐・間伐に伴い発生する著しい曲り、変色、腐材、根元部、梢端部、切捨材等)



用材等に使用

木材市場等



仕分け・集荷
(県森林組合連合会)

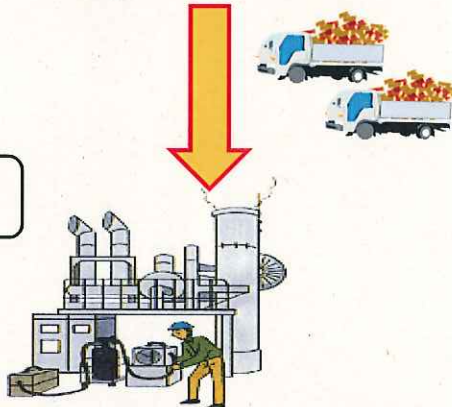
用材等に使用

チップ加工



チップ加工・乾燥・運送
(県内チップ加工業者)

発電



発電
(合同会社えひめ森林発電)